

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【公表番号】特表2005-526713(P2005-526713A)

【公表日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-035

【出願番号】特願2003-561587(P2003-561587)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/136	(2006.01)
A 6 1 P	9/06	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/20	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/136	
A 6 1 P	9/06	
A 6 1 P	25/04	
A 6 1 P	25/20	
A 6 1 P	43/00	1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月23日(2006.1.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電位依存性ナトリウムチャンネルの強力な活性化に基づく疾患の治療用医薬組成物を調製するための、アンブロキソール又はその薬理的に許容される1種の塩の使用。

【請求項2】

テトロドトキシン耐性ナトリウムチャンネルの活性化に基づく疾患の治療用医薬組成物を調製するための、アンブロキソール又はその薬理的に許容される1種の塩の使用。

【請求項3】

慢性的疼痛治療用の医薬組成物を調製するための、請求項1又は2に記載のアンブロキソール又はその薬理的に許容される1種の塩の使用。

【請求項4】

興奮毒性によって誘発される脳障害の治療用医薬組成物を調製するための、請求項1又は2に記載のアンブロキソール又はその薬理的に許容される1種の塩の使用。

【請求項5】

心臓不整脈治療用の医薬組成物を調製するための、請求項1又は2に記載のアンブロキソール又はその薬理的に許容される1種の塩の使用。

【請求項6】

アンブロキソールと、鎮痛薬、抗痙攣剤、神経保護物質及び抗不整脈薬から選択される1種又はそれより多くの有効成分とを含む医薬組成物。

【請求項7】

鎮痛薬、抗痙攣剤、神経保護物質及び抗不整脈薬から選択される1種又はそれより多くの有効成分と共に、アンブロキソール又はその薬理的に許容される1種の塩を使用する、

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項記載のアンブロキソール又はその薬理的に許容される 1 種の塩の使用。

【請求項 8】

麻酔薬、非ステロイド系鎮痛薬、ガバペンチン、抗鬱薬及びアルファアドレナリンアゴニストとから選択される 1 種またはそれより多くの有効成分と、アンブロキソールとを含む医薬組成物。

【請求項 9】

麻酔薬、非ステロイド系鎮痛薬、ガバペンチン、抗鬱薬及びアルファアドレナリンアゴニストとから選択される 1 種またはそれより多くの疼痛軽減剤と共に、アンブロキソール又はその薬理的に許容される 1 種の塩を使用する、請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項記載のアンブロキソール又はその薬理的に許容される 1 種の塩の使用。

【請求項 10】

アンブロキソール又はその薬理的に許容される塩を含有する疼痛又は腫瘍性疾患治療用医薬組成物。